

第4章 市の地理的、社会的特徴

市は、国民保護措置を適切かつ迅速に実施するため、その地理的、社会的特徴等について確認することとし、以下のとおり、国民保護措置の実施に当たり考慮しておくべき市の地理的、社会的特徴等について定める。

第1節 市の地理的、社会的特徴

1 位置及び地勢

- (1) 本市は大分県の中央部に位置し、総面積は319.16km²である。北は宇佐市や別府市など、南は竹田市、東は大分市、西は玖珠郡玖珠町・九重町に隣接する。
- (2) 北部から南西部にかけては由布岳や黒岳などの1,000m級の山々が連なり、由布岳の麓には標高約450mの由布院盆地が形成されている。中央部から東部にかけては、山麓地帯と大分川からの河岸段丘が広がっている。
- (3) 温泉地として名高い由布院温泉を擁する観光地である一方、大分市のベッドタウンとしての役割も併せ持つ。
- (4) 市の一部（庄内・湯布院）の地域では、阿蘇くじゅう国立公園の指定を受けている。
- (5) 本市の地勢的条件を整理すると次のようになる。
 - ①北部から南西部かけて1,000m級の山地が連なり、その山麓に囲まれる扇状地と平野に市街地が広がる。
 - ②活火山・断層等が分布する地殻活動が活発な地域である。
 - ③保安林、自然公園等に指定され、自然環境に恵まれている。



2 気候

- (1) 本市の気候は、標高の高い由布院盆地や北部では、日較差が大きく、冬には最低気温が氷点下になることも多く積雪にも見舞われる内陸性気候と、中央部から東部にかけての、標高の低い地域の雨が少なく温暖な瀬戸内式気候とに二分される。
- (2) 記録によると過去最低気温は昭和 20 年の -15 度、逆に最高気温は昭和 36 年の 39 度を記録している。

3 人口

- (1) 本市は、令和元年 9 月 30 日現在において総人口は 34,324 人でその内、男性 16,422 人、女性 17,902 人で、世帯数は 15,666 世帯である。
- (2) 住民基本台帳によると、地区別人口は以下のとおりである。

地区	庄内	挾間	湯布院
人口(人)	7,297	16,802	10,225
世帯数(世帯)	3,563	6,904	5,199

※令和元年 9 月 30 日住民基本台帳人口

4 道路

- (1) 主要道路は、高速道路が 1 路線、国道が 1 路線、主要地方道・一般県道の 22 路線が市内を網羅している。
- (2) 市の北部には、広域圏を結ぶ大分自動車道の湯布院インターチェンジ付近で国道 210 号と交差している。国道 210 号は J R 久大本線と並行して市域の中央部を東西に走り、大分市方面に接続している。また、県道 11 号別府一の宮線（やまなみハイウェイ）が市の北部を東西に走り、別府市と熊本方面を結んでいる。

5 鉄道

鉄道は、市の中央部を東西に走る J R 久大本線が運行されている。

6 自衛隊施設等

自衛隊施設は、市域内に陸上自衛隊湯布院駐屯地西部方面特科隊が所在するとともに、日出生台演習場の一部を有している。